

令和
8年度

子ども まちなかが 生き物塾

自然に遊んで



川の一生



磯遊び



こども じだい こども たいけん かさ しきおりおり へんか
子供の時代に子供らしい体験を重ねること、四季折々の変化を
からだ かん ところ たがや
体で感じながら心を耕していくことは、

にんげん せいちょう うえ か きちよう さいさん ちが
人間が成長していく上で欠かせない貴重な財産になるに違いない。

「子どもまちなか生き物塾」は守屋 開先生を総合コーディネーターとして、
精進川の源流部探査と街中を流れる下流域をフィールドに「精進川の水生生物
と命のつながり」を学び、また忍路の海岸と豊平川流域をフィールドに「地球
の進化史」を探ります。この体験を通じて自然界の不思議な仕組みを理解
し、かけがえのない自然を子ども達とともに考えるプログラムです。

総合コーディネーター
もりや ひらく
守屋 開先生

北海道大学理学部生物学科動物学専攻を卒業。同大学大学院環境科学研究所を経て、道立
高等学校、札幌市立高等学校の理科教諭。元札幌旭丘高校長。札幌市青少年科学館専門職も
務めた。現在、札幌市立大学非常勤講師を務めている。日本生態学会員、日本陸学会員。



活動プログラム

参加費 / 無料

募集人数 / 各日24名

精進川の水生生物と命のつながりシリーズ

A 7/25 ±

精進川の自然に
遊んで科学する!

〈子どもゆめ基金助成事業〉

B 8/11 火
(山の日)

精進川の源流から
川の一生を体験する!

〈子どもゆめ基金助成事業〉

地球の進化史を探るシリーズ

C 7/11 ±

磯遊びをとおして生命進化の
神秘を探る!忍路コース

〈子どもゆめ基金助成事業〉

D 8/29 ±

ぼくらは札幌地質探検隊
地形や地層の観察から
札幌の成り立ちを考えよう!

※この活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。提出された個人情報(写真は)、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

主催

公益財団法人 北海道自然体験学習財団

後援 / 札幌市・札幌市教育委員会

協力 / 札幌市立中の島小学校・中の島一区第3町内会

お問い合わせ先

北海道自然体験学習財団

〒060-0061 札幌市中央区南1条西4丁目 日本旅行札幌ビル

TEL/FAX 011-271-5167 MAIL codomo-sizen@codomo-sizen.com

事務局出勤日/月・水・金 (10時~16時)

本活動は、「子どもゆめ基金」の助成活動です。国立青少年教育振興機構は、子どもたちの成長に必要な体験活動や読書活動を推進するため、「体験の風をおこそう」運動や「早寝早起き朝ごはん」国民運動にも取り組んでいます。

本活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。

National Institution For Youth Education
国立青少年教育振興機構

子どもゆめ基金



「体験の風をおこそう」運動

かわいい子には体験を!
—子どもの頃の体験は人生の基盤—

運動の詳細や各種資料等はこちらから→



全国の体験活動・プログラム
イベントをさがそう

体験活動情報サイト



令和8年度

参加費
無料

募集人数
各日24名

子どもまちなか生き物塾

参加対象者

小学校4年生～6年生

※D「ぼくらは札幌地質探検隊」(8/29)は
小学校5・6年生限定です

精進川の水生生物と命のつながりシリーズ

精進川の自然に遊んで科学する!

子どもゆめ基金助成事業

活動のねらい	街中を流れる精進川等に生息する生物の観察・採集や環境調査、分析をとおして、自然界の仕組み(命のつながり)について学びます。	
A	集合日	7月25日(土)
	集合場所	中の島小学校前(札幌市豊平区中の島2条1-1-22)
	講師	〈主任講師〉守屋 開先生
	参加者が準備するもの	昼食、おやつ、飲み物、汚れてもよい服装、手ぬぐいタオル、帽子、濡れてもよいサンダル(クロックス可)又は運動靴、履き替えの靴、上履き、筆記用具
		プログラム
		9:30 集合確認、徒歩で精進川へ
		午前 環境調査(気温・地温・水温・pH)・植物調査(木の葉採集)・土壌採取
		川遊びをしながら魚とりや水生生物採集
		午後 中の島小学校理科室にて実験開始
		①簡易ツルグレン装置(土壌動物抽出装置)による土壌動物採捕
		②土壌動物や水生生物の同定(種類を調べること)
		③守屋 開先生の『精進川の水生生物と命のつながり』についての解説
		16:00 まとめ、終わりのあいさつ(保護者にお引渡しに参加条件です。)

精進川の源流から川の一生を体験する!

子どもゆめ基金助成事業

活動のねらい	サクラマスの遡上も確認されている街中を流れる精進川の源流部から下流域までを探索しながら、豊平川の支流としての「川の一生」を体験します。	
B	集合日	8月11日(火・山の日)
	集合場所	中の島小学校前(札幌市豊平区中の島2条1-1-22)
	講師	〈主任講師〉守屋 開先生
	参加者が準備するもの	昼食、おやつ、飲み物、汚れてもよい服装、手ぬぐいタオル、帽子、濡れてもよいサンダル(クロックス可)又は運動靴、履き替えの靴、筆記用具
		プログラム
		9:00 集合確認、バスで、精進川の最上流域(真駒内411周辺)へ移動
		※当日の「熊出没情報」により、安全対策のためコース内容を変更する場合があります。
		午前 上流域にて環境調査(水温・水質・流速流量等)及び草や木の観察、水生生物採集
		バスで常盤パーキングへ移動
		午後 かつてカワシンジュガイが生息していた川の様子を観察、カワシンジュガイとサクラマスの関係学習、中流域の環境調査、取水口での水量等調節機能を確認
		精進河畔公園へ移動、河畔公園内の精進川の滝観察とサクラマス遡上の関係を学習
		15:00 精進川下流域(豊中公園沿い)で、環境調査・川遊びをしながら魚とりや水生生物の採集
		16:15 まとめ、終わりのあいさつ(保護者にお引渡しに参加条件です。)

地球の進化史を探るシリーズ

磯遊びをとおして生命進化の神秘を探る!忍路コース

子どもゆめ基金助成事業

活動のねらい	地球の生命史と生物の種類の多様性について、採集体験をしながら学習します。	
C	集合日	7月11日(土)
	集合場所	中の島小学校前(札幌市豊平区中の島2条1-1-22)
	講師	〈主任講師〉守屋 開先生 〈講師〉宮嶋 衛次先生(公立千歳科学技術大学 客員教授)
	参加者が準備するもの	昼食、おやつ、飲み物、汚れてもよい服装、濡れた時の着替え、手ぬぐいタオル、帽子、濡れてもよいサンダル(クロックス可)又は運動靴、履き替えの靴、上履き、たも網、持ち帰る場合は小さなバケツ等入れ物、水着及びライフジャケット、筆記用具
		プログラム
		8:00 集合確認、バスで、北大忍路(おしよる)臨海実験所の磯へ移動
		午前 忍路の浜にて磯採集(巻貝、イソギンチャクやヤドカリ、プランクトン、海藻等)
		午後 北大臨海実験所にて顕微鏡等を使って、採集した生物の同定(種類を調べる)等
		守屋 開先生の『生命進化のお話』、まとめ
		15:00 バスで札幌・集合地点へ移動
		16:30 到着後、終わりのあいさつ(保護者にお引渡しに参加条件です。)
		※高速道路出口の渋滞で、到着時間がずれる場合があります。

ぼくらは札幌地質探検隊 地形や地層の観察から札幌の成り立ちを考えよう!

活動のねらい	豊平川を下流から上流に遡りながら、地形、露頭や岩石の観察、化石の採取を行い、どの時代にどのような自然現象が起きたかを調べ、札幌のジオストーリーをつくります。	
D	集合日	8月29日(土)
	集合場所	中の島小学校前(札幌市豊平区中の島2条1-1-22)
	講師	〈主任講師〉岡本 研先生(東海大学非常勤講師) 〈講師〉宮嶋 衛次先生(公立千歳科学技術大学 客員教授)
	参加者が準備するもの	昼食、おやつ、飲み物、汚れてもよい服装、手ぬぐいタオル、帽子、軍手、リュックサック(なるべく丈夫なもの)、運動靴、採取した物を入れる丈夫な袋、筆記用具
		プログラム
		9:00 集合確認、バスで、観察地域に移動
		午前 中の島小学校付近の河川地形の観察(扇状地、河岸段丘)
		藻南公園地形地質観察(河原の石、海底火山の堆積物)
		硬石山地質観察(河川地形)
		石山緑地地質観察(札幌軟石=溶結凝灰岩、火山の恵み)
		午後 低山河原地質観察(鉱物や化石探し) ※当日の「熊出没情報」により、安全対策のためコース内容を変更する場合があります。
		バスで会場へ移動後、グループ発表と札幌ジオストーリー作成
		16:30 まとめ、終わりのあいさつ(保護者にお引渡しに参加条件です。)

お申込み

お申込みは
こちらから

お知らせ

募集開始
(先着受付)

6/12 金 9:00~

※満員になり次第締め切りとなります。

募集締切

活動日の2週間前

必要事項

- ① 参加者お名前(ふりがな)、男女別
- ② 学校名と学年
- ③ 〒住所と電話番号及び保護者の携帯番号(父・母の区分)
- ④ 参加希望活動名(第3希望まで記入可)



当財団HPにて「青山慎一先生の子ども世界の昆虫館」を公開しておりますので、ご覧ください。

※参加登録の可否を6月23日(火)に回答します。回答がない場合は、必ずお問合せください。